

2022 年 10 月 26 日

**ディスポーザブル把持鉗子「FlexLifter」を発売**  
**大腸の内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）における、より効率的で安全な手技をサポート**

オリンパス株式会社（以下、オリンパス）は、早期の大腸がんにも適用可能な内視鏡的粘膜下層剥離術※<sup>1</sup>（以下、ESD）で使用するディスポーザブル把持鉗子「FlexLifter（フレックスリフター）」※<sup>2</sup>を 2022 年 10 月 26 日から国内で発売を開始します。

「FlexLifter」は、ESD により病変を剥離する際に内視鏡の先端から出す高周波ナイフ類と併せて使用するもので、切除する病変の付近を持ち上げ固定することで、粘膜下層を切除しやすくするための処置具です。視野の確保と安定した切除をサポートし、より効率的で安全な手技に貢献します。

なお本製品は、10 月 27 日～30 日まで福岡国際センターほかで開催される「第 104 回日本消化器内視鏡学会総会」に出展されます。

※<sup>1</sup> 手技の手順はこちらをご参照ください。

おなかの健康ドットコム： [https://www.onaka-kenko.com/endoscope-closeup/endoscopic-therapy/ep\\_08.html](https://www.onaka-kenko.com/endoscope-closeup/endoscopic-therapy/ep_08.html)

※<sup>2</sup> 「FlexLifter」は、販売名「ディスポーザブル把持鉗子 LA-400」の愛称です。

■ 発売の概要

販売名	発売日
ディスポーザブル把持鉗子 LA-400	2022 年 10 月 26 日

製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ株式会社です。

■ 主な特長

1. 組織を持ち上げ視野を確保することで、より効率的かつ安全な処置をサポート
2. 内視鏡の動きが組織を把持する鉗子の位置に影響を与えづらい設計により、操作性向上に寄与
3. 切除した病変の回収にも対応し、手技時間の短縮とコスト削減に貢献



ディスポーザブル把持鉗子 LA-400

< 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 コミュニケーションズ 井上  
TEL：070-2629-2739 メールアドレス：Global-Public\_Relations@olympus.com
- ホームページ： <https://www.olympus.co.jp>

## ■ 発売の背景

早期の大腸がんなどの治療において、ESD は開腹手術に比べ患者さんへの負担が少ない低侵襲な治療として、多く用いられています。一方で ESD は、その適用範囲の広がりから困難な症例も多く、高度な内視鏡技術を要することに加え、長時間にわたる手技が課題となっていました。さらに大腸は形状が複雑で、腸壁が胃などに比べて薄いことから、より安全な手技に対する要望は年々高まっています。

今回発売する「FlexLifter」は、ESD の手順の中でも重要で難しいとされている大腸における粘膜下層の剥離で使われます。病変の付近を持ち上げ固定することで、広い視野を確保するだけでなく、ナイフを当てた際に組織がずれることなく安定した切除をサポートし、より効率的で安全な手技に貢献します。これにより、手技時間の短縮が期待できます。

## ■ 主な特長の詳細

### 1. 組織を持ち上げ視野を確保することで、より効率的かつ安全な処置をサポート

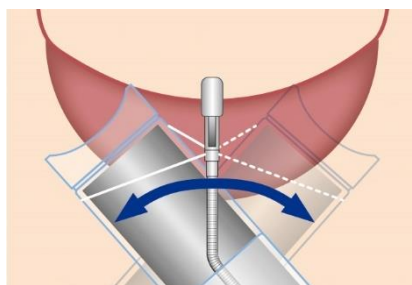
本製品を用いて切除する病変の付近を持ち上げることで、内視鏡による広い視野が確保できるため、切除部の視認性向上に貢献します。さらに剥離の進行度合いに応じて、掴みなおしが可能です。また操作部にはロック機構を搭載しています。これにより、安全かつ効率的な処置をサポートします。



FlexLifter 使用イメージ

### 2. 内視鏡の動きが組織を把持する鉗子の位置に影響を与えづらい設計により、操作性向上に寄与

内視鏡先端に取り付けたアタッチメントと鉗子部分を柔軟性のある糸で繋ぐことで、内視鏡の動きが組織を把持する鉗子の位置に影響を与えづらい設計にしました。管腔が狭くヒダが多いため、内視鏡操作が難しいとされる大腸でも、操作性向上に寄与します。



切除時の内視鏡操作（イメージ）

### 3. 切除した病変の回収にも対応し、手技時間の短縮とコスト削減に貢献

切除した病変は、本製品にて回収に対応します。回収のために別の処置具へ交換する必要がないため、手技時間の短縮とコスト削減に貢献します。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

#### オリンパスの治療機器事業について

オリンパスの治療機器事業は、医療分野における革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。ポリープ切除用のスネア開発に始まり、様々な製品が疾患の予防、診断、治療に役立っています。詳しくは、[www.olympus.co.jp/](http://www.olympus.co.jp/)をご覧ください。

またオリンパスの公式Twitterもよろしければ、フォローください。

